

独占禁止法教室

～沖縄国際大学に
行ってきました～



シミュレーションゲームの様子

「どっくん」
公正取引委員会
マスコットキャラクター

を体験したり、カルテルを行った企業に立入検査を行う寸劇に参加するなど、体験を通して市場における競争の必要性を学びました。学生からは、「談合の疑いのある企業への立入検査の実演を見ることで、公正取引委員会がどのような方法で立入検査を行っているのか、より深く知ることができた。」などの意見が寄せられました。



講義の様子

6月27日、沖縄国際大学において、独占禁止法教室を開催しました。独占禁止法教室では、公正取引委員会の役割や独占禁止法、下請法、消費税転嫁対策特別措置法及び景品表示法などの所管法律の内容や過去の違反事例について説明をしました。

また、シミュレーションゲームでは、学生がそれぞれ携帯電話販売店3社の販売店員になって競争

総務部公正取引室では、独占禁止法の役割や意義を理解してもらうため、中学校、高等学校、大学の授業に講師を派遣しますので、お気軽にご連絡ください。

総務部公正取引室

☎098-866-0049

財政教育プログラム

in伊原間中学校



グループワークの様子

7月12日に石垣市立伊原間中学校の全校生徒40名を対象として「財政教育プログラム～日本の財政を考えよう～」を開催しました。当プログラムは、小中高生へのニュートラルな主権者教育の一環として、財政を通じて自分たちの国の将来について判断できる知識を育むため、財務省・財務局・沖縄総合事務局財務部が学校と協働で実施する財政教育授業です。授業では講師の宮里審理室長から、「LIFE(自分の将来のために)日本の未来を考える」と題して、身近な公共サービス、公共施設(新石垣空港、新県立八重山病院など)を紹介し、それを支えるための会費として税金が集められていること。そして、財政を含めた社会の課題が将来の自分に大きく関わってくることを説明しました。

宮里審理室長は「財政について関心がもてた」という感想があり、学校の先生からは「今回のグループワークは回答を導き出すものではなく、それぞれの考え方を出し合い、グループで意見をまとめるという参加型の授業で、生徒にはいい経験になった」との意見がありました。

財務部では、社会の仕組みや財政・金融について、より深い関心を持つきっかけとなるように、今後財政教育プログラムを展開してまいります。

財務部財務課

☎098-866-0091



講義を行う宮里審理室長

続いて行ったグループワークでは、アドバイザー(財務部若手職員)の補助